

目次

序文	鈴木貞美	1
近代／脱近代論と脱植民地主義 —研究の課題と方法論に関わって—	尹 健次	5
日本統治下の朝鮮の社会と経済をどうみるか —「開発論」と「収奪論」を越えて—	鄭 在貞	37
植民地支配政策史研究の現状と課題	水野直樹	59
植民地朝鮮の民族学・民俗学	崔 吉城	67
日本植民地支配と朝鮮社会変動 —社会学から見た現状と課題—	李 鐘叟	95
植民地における日本キリスト教朝鮮伝道 —現状と課題—	金 文吉	109
朝鮮近代文学研究の現状と課題 —韓国での論議を中心に—	布袋敏博	137
3・1 独立運動時の朝鮮在住宣教師と植民地権力 —政治不介入の原則とその政治性をめぐって—	李 省展	169
旅券記録に見る女性人口移動 —帝国日本から植民地朝鮮へ—	宋 連玉	203
総力戦期の植民地朝鮮における経済統制法令の 整備と経済「犯罪」	松田利彦	227
民族運動勢力の共和主義・共存意識の 変化に関する試論	辛 珠柏	257
日帝初期医療人関連法規の頒布と植民支配	朴 潤栽	285
韓国における在日朝鮮人史研究	金 仁徳	317
総括討議	方 基中	345
	笠原芳光	349
	南 富鎮	352
	並木真人	355
	橋谷 弘	359
プログラム		363